

## 令和5年度第4回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会 議事録

日時・場所： 令和5年7月4日（火）13：30～15：05 教授会室

出席者： 井手理事長（議長）、宮川副理事長、小泉理事、松岡理事、中嶋理事、  
須戸環境科学研究院長、山根先端工学研究院長、森下人間文化学研究院長、  
古株人間看護学研究院長、村上環境科学部長、徳満工学部長、  
市川人間文化学部長、伊丹人間看護学部長、澤野事務局次長  
遠山委員、森委員、矢吹委員

事務局： 高木財務課長、寺村経営企画課長、川分学生・就職支援課長、郡田教務課長、  
山中地域連携・研究支援課長、堀江高等専門学校開設準備室長、山田総務課長、  
前田課長補佐、山崎主任主事

令和5年度第3回公立大学法人滋賀県立大学教育研究評議会議事録（案）について、一部文言について修正を行うこととして承認された。

なお、文言修正については議長に一任されることになった。

### 議 題

#### 審議事項

- 1 人間看護学研究科博士後期課程の設置に向けて  
伊丹人間看護学研究科長から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。  
[主な意見・質疑等]
  - ・ぜひ博士後期課程の設置を実現してほしい。
  - ・教員の資格等は問題ないか。  
→本学で博士後期課程を設置できるよう個々の教員が業績を積んできたが、特任教員等の活用も視野に入れ検討していきたい。

#### 報告事項

- 1 第4期中期目標（素案）について  
寺村経営企画課長から資料に基づき報告があった。  
[主な意見・質疑等]
  - ・社会人教育の充実に関して、教育研究組織の再編の検討を行ったうえで行うのか、あるいはそれとは別に考えていくのか。  
→それらを含めてこれからの議論と考えているが、現時点では、大学全体の教育研究組織の再編が先ずあると考えている。
  - ・社会人教育の一定数が見込めれば、高卒入学定員を減らすという検討は可能なのか。  
→これからの議論となる。ただ、18歳人口は減少し、社会人教育が求められている現状がある。いずれにせよ学部学科の再編とセットで考えていく内容である。
- 2 不正経理事案および学生の負傷事故に対する再発防止策等の状況について  
寺村経営企画課長および山田総務課長から資料に基づき報告があった。  
[主な意見・質疑等]
  - ・ヒヤリ・ハット事例を集め教訓とし、再発防止に活かすような取組はされているか。  
→工学部では、ヒヤリ・ハット事例をまとめ内容を共有している。

- 3 令和5年度科学研究費助成事業の応募申請・採択の結果について  
松岡研究・評価担当理事から資料に基づき報告があった。
- 4 令和5年度 公立大学法人滋賀県立大学特別表彰について  
井手理事長から資料に基づき報告があった。
- 5 学生の退学・休学・復学・除籍について  
小泉教育・学生支援担当理事から資料に基づき報告があった。
- 6 令和5年度教職員向け研究倫理教育の実施について  
松岡研究・評価担当理事から資料に基づき報告があった。
- 7 科研費講演会 2023—科研費申請の不採択と採択の経験から—の開催について  
松岡研究・評価担当理事から資料に基づき報告があった。
- 8 『オープンキャンパス2023』の開催について  
郡田教務課長から資料に基づき報告があった。
- 9 各委員会等の結果の概要について
  - (1) 令和5年度第3回衛生委員会
  - (2) 令和5年度第1回広報戦略委員会
  - (3) 令和5年度第1回内部質保証推進委員会
  - (4) 令和5年度第2回入学試験委員会
  - (5) 令和5年度 第1回教務委員会
  - (6) 令和5年度第3回国際交流委員会

## その他

- 1 大学院入学者情報（入学金別・進学区分別）について  
川分学生・就職支援課長から資料に基づき報告があった。  
[主な意見・質疑等]  
・大学院工学研究科では、ほとんどの学生が本学学部からの進学となっている。県外出身者でありながら内部進学する学生について、入学金を県内出身者と同額となるよう検討してほしい。
- 2 令和5年度 JST 女子中高生の理系進路選択プログラムについて  
山田総務課長から資料に基づき報告があった。
- 3 「湖風会」通常総会開催について  
矢吹委員から去る6月17日に滋賀県立大学同窓会「湖風会」通常総会が行われたことが報告された。
- 4 その他  
本学びわこ航空技術研究部が鳥人間コンテストに出場することに関し、進捗状況について質問があった。  
→資金不足については、教職員や同窓会等の協力で解決しつつある。機体についても現在製作を進めていると聞いている。